



発行日：令和5年9月

編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

### ◆第67回山部会WGを開催しました！

7月28日(金)に第67回山部会WGが根羽村にて開催されました。WGでは、テーマ別の活動進捗状況の報告と協議を行いました。また、エコネットあんじょうより、奥山保全トラストプロジェクトの取り組みについて説明いただきました。

日時：令和5年7月28日(金) 13:30~16:30

場所：根羽村 老人福祉センターしゃくなげ

参加者：22名(内オンライン参加4名) ※事務局を含む



### ◆主な会議内容

#### 1. テーマ別の活動進捗状況の報告



令和5年度の活動進捗について、4つのテーマごとに以下の報告がありました。

##### ■流域圏担い手づくり事例集

これまでの事例集づくりの経緯と今年度の計画について以下の報告があった。

- ・今年度の事例集は、昨年度に続き1つのプロジェクトを対象としてまとめていく。一つの案として、伊勢湾・三河湾の海の豊かさを取り上げる予定。海のマイクロプラスチック問題、栄養塩不足の問題などを記録できればと考えている。
- ・もう一つの案は、今まで取り上げてこなかったエリアとして、幸田町の林業を対象にした事例集を検討したい。

##### ■山村ミーティング・森づくりガイドライン

7月20日に実施された「矢作川水源の森づくり合同研修会」の状況について以下の報告があった。

- ・7/20 豊田森林組合にて、に愛知・岐阜・長野の3県の森林組合が合同で、林業現場技術者の人材育成方法を学ぶことを目的に研修会を行った。
- ・各森林組合から3名くらいが参加し、伐倒練習機を使った実習等を行いながら、安全確保などの細かいチェックを行った。山の仲間たちの現場での事故防止を目的に、当日のプログラムや資料はオープンにした。

##### ■木づかいガイドライン

獣害対策、リノベーションの取り組みなど、根羽村における木づかいに関する活動について以下の報告があった。

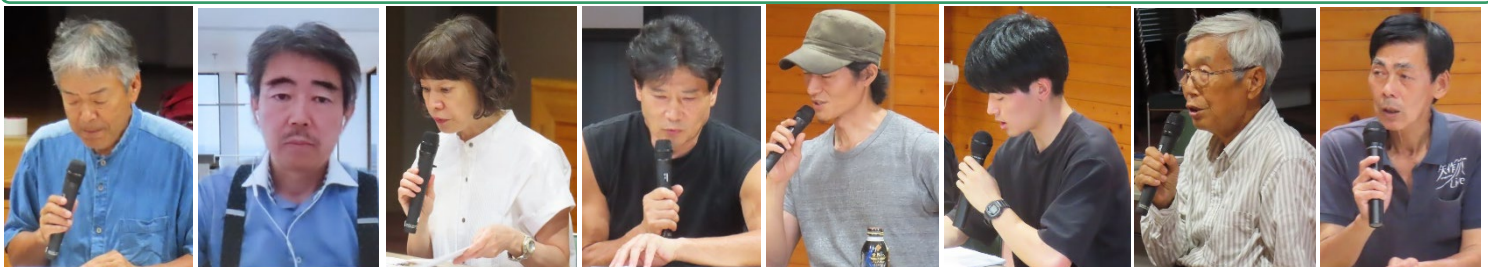
- ・獣害対策として各種単木防護柵を実施したが、全てシカによる食害を受けた。皆伐して再造林の段階に入ったが、獣害対策が大きなハードルになっている。対策として周囲防護柵の設置や植栽地パトロールの実施を検討している。
- ・端材を利用したリノベーションを実施している。南都留森林組合と連携し、「ネバスギを使ったシェアハウス」として、端材を使った空き家の改装に取り組んでいる。
- ・木育推進事業として、高知県梶原町の太郎川公園森林フェスティバル、山梨県甲府市の水源の森からマルシェ、山梨県のココロ祭りに出向き、木育活動を行った。
- ・「青い空とビーチサウナ」として、「NEBA SAUNA」の特徴を紹介した。
- ・安城市と根羽村の親子山村留学をきっかけとした「森へおいでよ 矢作川水源の森へ」の太田氏の活動を紹介した。
- ・根羽スギを使った建築物として、長野IC近くにある「おやきファーム」を紹介した。

#### 2. 話題提供：奥山保全トラストプロジェクトの取り組み



NPO 法人エコネットあんじょう 神谷輝幸氏より、奥山保全トラストプロジェクトの取り組みについて報告していただきました。主な内容は以下の通りです。

- ・安城市では、水源の森づくりに取り組んでおり、根羽村より水源の森として12haの森林を購入した。
- ・安城市は荒れ野であったが、明治用水ができて、緑豊かな水田地帯ができた。水の大切さを痛感し、水源の森をつくって、保全することが必要と感じている。根羽村の水源の森を発信の基地として、水源の森の大切さを市民に伝えていきたい。
- ・水源の森を見ていると、森は「緑のダム」であることが実感できる。水源の森では、ブナやミズナラなど広葉樹を主体に森づくりを進めていく。
- ・広葉樹に覆われた森づくりをやっていくと三河湾も豊かになると思う。山がきちんと整備されれば、豊かな海も復活する可能性がある。三河湾復活の鍵は、森林の鉄分が豊かに流れていくこと。そのためには森を再生する必要があると感じている。いい漁場には、いい森があるということ。



## ◆話し合いでの主な意見 (・意見 ▶回答)

### ●テーマ別の活動進捗状況

#### ■流域圏担い手づくり事例集

- ・幸田町で事例集を作成する場合、清水氏がやられている住民主体による森林整備活動等が取材対象となるかと思う。また、藤田医科大学で里山整備をやっているグループがある。また、行政の考えも取材対象となる。(洲崎)
- ▶ 私がやっている森林整備活動は失敗例となるが、流域の問題をさぐるという点で、むしろ失敗例が参考になるかと思う。取材に来ていただきたいと思う。(清水)
- ▶ 幸田町には森林組合がない。その関係もあって補助金をもらえないことから、林道が荒れても直せず、山に入ることさえ難しくなっている。(清水)
- ▶ 行政がなかなか手助けしてくれないので、行政は取材に応じしてくれない可能性がある。(清水)
- ・幸田町の森に関する活動は、それぞれが孤立していて、バラバラに活動しているという感じなのか？(丹羽)
- ▶ そのような感じだと思う。他に、西山というところで活動しているところがあるとのこと。(清水)
- ▶ 林業活動をやっている団体が集まるような会を一度開くとよい。孤軍奮闘は疲れるので、山に関係している人の調査活動を事例集としてやってみるなど(丹羽)
- ▶ 幸田町で事例集を作成するなら、森林組合がなく、町の林務課もないところでどうしていくかということで事例集を作成していくとよいかと思う。(近藤)
- ▶ 課題を持ちよって一度集まってみる。林業関係者の母集団を整理し、リスト等を作成するとよいと思う。(丹羽)
- ▶ 森に対してアクションしないといけないと思っている有志が集まって話し合うことがスタートと思う。有志集団のようなものを作って活動していく。その経過が事例になるのかと思う。(今村)
- ・事例集を使って、海の問題を掘り下げていくやり方もあるかと思った。現在、顕著な問題が見えてきているのが海だと思う。海の問題は山までつながっていくはず。(近藤)
- ・数年前、東幡豆漁協と交流したり、海部会と山部会で交流したりした。山の人が海の様子を知っていたりすること。こういうのが矢作川流域圏懇談会の意義だと思う。(今村)
- ・山をメインに活動している人が海の取材に行くようなことをすれば交流になるし、事例集を作ることで自分が勉強にもなる。(佐竹)
- ▶ これからは、いろんな立場の方に入ってもらって、新しい発見や学びがあるようにしていきたいと思う。(洲崎)

#### ■山村ミーティング・森づくりガイドライン

- ・豊田森林組合は、人材育成について中期経営計画にも入れ込み、根本のところから考えていった。その成果を披露してほしいと流域圏懇談会からお願いした。(丹羽)
- ・徹底した人材育成をやっておりすごいと思った。事故が多発したというきっかけがあって、このようなシステムを作れたと思う。今後、日本の林業に全体的に広がってくるかと思う。(山本)
- ・豊田森林組合は、効率第一主義ではなく、安全第一主義にシフトしていることがわかった。(蔵治)
- ・いかに体の負担がなく作業するかというのが徹底されていた。また、流域の森林組合が集まった研修が実施されたことにも驚いた。(石原)
- ▶ 10年前あたりは、豊田森林組合も安全対策は徹底されていなかった。今は、装備も充実し、専門教育を2年間受けさせるなど人材育成の仕組みもできている。(丹羽)
- ▶ 森林組合は市町村単位だが、そういうのを越えて、森林技能者が学び合える、いろんな課題を持ち込めあえる場ができないかということが今回の大きな狙いだった。(丹羽)
- ・間伐技術をきちんとしていくということは、流域圏の森づくりとして一番重要な基礎技術となる。その点でも、この研修は、流域圏懇談会の趣旨に合うと思った。(蔵治)

### ●その他

#### ■第2回中部のいい川ワークショップ in 矢作川

- ・いい川づくりワークショップではどのようなことをやるのか？(丹羽)
- ▶ 1/20 能楽堂にて、愛知・岐阜・三重・長野・静岡の様々な取り組みの発表とシンポジウムを行う。内容はこれから具体化していく。今年は矢作川となったので、山から海までつながっていくということを取り組んでいる矢作川と、流域治水を進めている国の取り組みをどうつなげていくかが課題と思う。流域圏懇談会からも意見等いただければと思う。(近藤)
- ▶ 1/21 に岡崎を舞台にエクスカージョンを行う予定。ベースとなるのは、平成20年8月末豪雨後の川づくり。これを語り合いながら、これからの流域治水を考えてみたいと思っている。(近藤)

## 今後のスケジュール (予定)

次回の山部会ワーキング・フィールドワークは、9月15日(金)・9月16日(土) 恵那市にて開催します。

### ◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 蔭山、建設専門官 宮本、技官 松田  
TEL 0532(48)8107

\*矢作川に関する情報は、国土交通省豊橋河川事務所までお送りください。



# 矢作川流域圏懇談会通信

R5 フィールドワーク vol.2



発行日：令和5年9月

編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

## ◆根羽村の森林活用、村民活動拠点、再造林の現場 を視察しました！

根羽村の森林のjクレジット活用、山村留学を通じての山林利用、村民活動拠点施設、コウヨウザン植栽地の状況を視察しました。

日時：令和5年7月29日（土） 9:00~12:00

場所：①jクレジット対象林 ②里山展望デッキ ③村民活動拠点くりや ④コウヨウザン植栽地

案内：山本英介氏（根羽村森林組合）・太田真智子氏（根羽村山村留学 安城市在住）

参加者：22名（事務局を含む）



## ◆フィールドワークの記録

### ① 高橋地区：jクレジット対象森林



温室効果ガスの吸収量をクレジット化して販売している森林を見学しました。しっかりと間伐して管理されていることで認証を受け、企業などにクレジットを販売しています。対象森林は7haで、33.25トンのCO<sub>2</sub>を吸収しています。

### ② 老平地区：山村留学の生徒と作成した里山展望デッキ



山村留学で安城市から来たご家族、根羽村の親子、根羽村森林組合が協同して作成したウッドデッキを見学しました。山村留学で参加された太田真智子氏は、「自分でやってみる、体験する、体を動かすというのが大事。自然の中で遊んだり、体験したり、五感を使って感じるということを経験できる機会をつくりたい」とお話しされました。

### ③ 上町地区：村民活動拠点施設「くりや」



2021年7月にオープンした、新たな地域振興を目的とした村民交流拠点「くりや」を見学しました。交流拠点には、Wi-fi環境が完備されたテレワーク設備、ワークショップスペース、シェアキッチンなどが設備されており、村民同士の交流や活動の拠点として機能しています。

### ④ 小柄地区：コウヨウザン植栽地



獣害対策に取り組んでいるコウヨウザン植栽地を見学しました。この場所は、2年前に皆伐し、早生樹であるコウヨウザンを植栽しました。単木防護柵による獣害対策を実施しましたが、すべてシカに食害されました。そのため、カブサイシンの散布、周囲防護柵の設置、植栽地パトロールなど各種対策の実施を検討しています。

## ◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 蔭山、建設専門官 宮本、技官 松田

TEL 0532(48)8107

\*矢作川に関する情報は、国土交通省豊橋河川事務所までお送りください。

